ボーリング柱状図

調査名	西部環境工場代替施設建設に伴う地質調査業務委託
事業・工事名	
ボーリングNo.	
シートNo.	

ボーリング名	BorNo.2	調査位置	熊本市小島2丁目外地内	北緯	32° 46′ 24.6″
発注機関	熊本市環境保全局環境事業部環境施設整備室	調査期間	平成 21年 4月 13日 ～ 21年 8月 31日	東経	130° 38′ 44.6″

孔口標高	3.332m	角度	180°上 90° 下 0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	YBM 05型	ハンマー落下用具	コーンプーリ
総掘進長	48.00m								エンジン	ヤンマーNF-80	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	2.28	1.05	1.05		埋土	暗褐			シルト混じり砂 砂は微細粒砂
2～11	-8.22	10.50	11.55		砂	黒	非常に緩い～中ぐらい		1.05～3.70m間、細粒砂が主で少量の貝殻片と腐植物混じる 全体に含水量多い 砂は細粒砂 3.70m付近から5.0mまでは、シルト混じり砂で腐植物混じる 5.00m付近からは細流砂主体で貝殻細片が混じる 6.00～8.75m間に、所々薄いシルト層挟む 10.00m以深は、少量のシルトが混じる細粒砂 貝殻細片の混入は少なくなる
12～28	-24.97	16.75	28.30		シルト	暗灰		非常に軟らかい	粘性中位 全体に貝殻細片と所々に少量の腐植物混入 14.60m付近には、所々にシルト質細粒砂を棒状に挟む φ20mm程度の棒状に挟む 27.0m付近から、徐々に黒褐色となる
29～30	-27.12	2.15	30.45		シルト質砂	暗灰	非常に緩い		砂は微細粒砂 全体に含水量多い 少量の貝殻細片混じる 29.0mの貫入試料はシルト優勢
31								非	

孔内水位(m)／測定月日：5/12 1.25

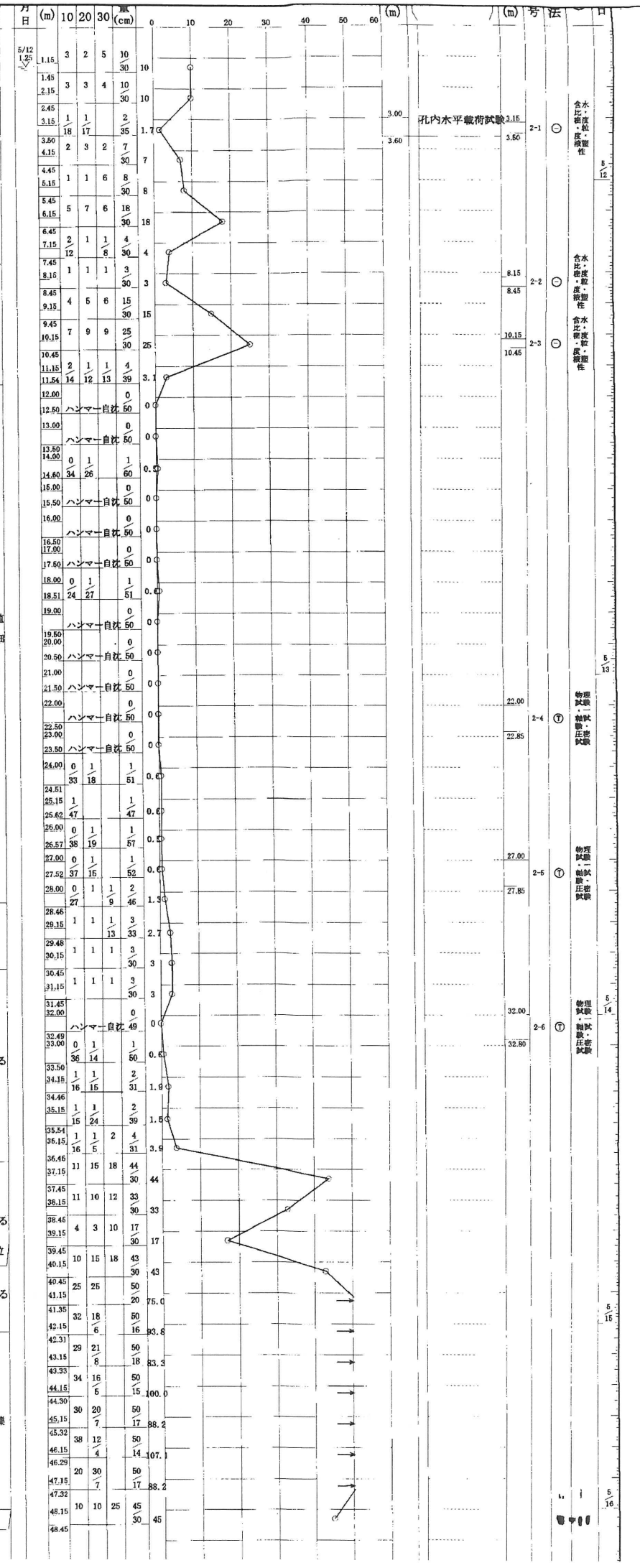
標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	3	2	5	10/30	10
1.45～2.15	3	3	4	10/30	10
2.45～3.15	1/18	1/17		2/35	1.7
3.50～4.15	2	3	2	7/30	7
4.45～5.15	1	1	6	8/30	8
5.45～6.15	5	7	6	18/30	18
6.45～7.15	2/12	1	1/8	4/30	4
7.45～8.15	1	1	1	3/30	3
8.45～9.15	4	5	6	15/30	15
9.45～10.15	7	9	9	25/30	25
10.45～11.15～11.54	2/14	1/12	1/13	4/39	3.1
12.00～12.50	ハンマー自沈			0/50	0
13.00	ハンマー自沈			0/50	0
13.50～14.00～14.60	0/34	1/26		1/60	0.6
15.00～15.50	ハンマー自沈			0/50	0
16.00	ハンマー自沈			0/50	0
16.50～17.00～17.50	ハンマー自沈			0/50	0
18.00～18.51	0/24	1/27		1/51	0.6
19.00	ハンマー自沈			0/50	0
19.50～20.00～20.50	ハンマー自沈			0/50	0
21.00～21.50	ハンマー自沈			0/50	0
22.00～22.50	ハンマー自沈			0/50	0
23.00～23.50	ハンマー自沈			0/50	0
24.00～24.51	0/33	1/18		1/51	0.6
25.15～25.62	1/47			1/47	0.6
26.00～26.57	0/38	1/19		1/57	0.5
27.00～27.52	0/37	1/15		1/52	0.6
28.00	0/27	1	1/9	2/46	1.3
28.46～29.15	1	1	1/13	3/33	2.7
29.48～30.15	1	1	1	3/30	3
30.45～31.15	1	1	1	3/30	3
31.45					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
3.00～3.60	孔内水平載荷試験

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験(～)	掘進月日
3.15～3.50	2-1	⊖	水・比・密・粒・度・液・塑性	5/12
8.15～8.45	2-2	⊖	水・比・密・粒・度・液・塑性	
10.15～10.45	2-3	⊖	水・比・密・粒・度・液・塑性	5/13
22.00～22.85	2-4	Ⓣ	物理試験・一軸試験・圧密試験	
27.00～27.85	2-5	Ⓣ	物理試験・一軸試験・圧密試験	

(m)	(m)	(m)	(m)	図	分	調	度	度	事
1	2.28	1.05	1.05		埋土	暗褐			シルト混じり砂 砂は微細粒砂
2									
3									
4									
5									
6					砂	黒	非常に緩い～中ぐらい		1.05～3.70m間、細粒砂が主で少量の貝殻片と腐植物混じる 全体に含水量多い 砂は細粒砂 3.70m付近から5.0mまでは、シルト混じり砂で腐植物混じる 5.00m付近からは細流砂主体で貝殻細片が混じる 6.00～8.75m間に、所々薄いシルト層挟む 10.00m以深は、少量のシルトが混じる細粒砂 貝殻細片の混入は少なくなる
7									
8									
9									
10									
11	-8.22	10.50	11.55						
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19					シルト	暗灰		非常に軟らかい	粘性中位 全体に貝殻細片と所々に少量の腐植物混入 14.60m付近には、所々にシルト質細粒砂を棒状に挟む φ20mm程度の棒状に挟む 27.0m付近から、徐々に黒褐色となる
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28	-24.97	16.75	28.30						
29					シルト質砂	暗灰	非常に緩い		砂は微細粒砂 全体に含水量多い 少量の貝殻細片混じる 29.0mの貫入試料はシルト優勢
30	-27.12	2.15	30.45						
31									
32									
33					シルト	黒灰		非常に軟らかい～軟らかい	上部には微細粒砂混じる 全体に含水量多い 腐植物細片及び貝殻細片少量混じる 粘性中位 指でこねるとベチョベチョになる 下部は部分的に褐灰色の所あり
34									
35									
36									
37	-33.37	6.25	36.70		砂	黒	密な		均一な細粒砂主体 含水量中位 38.10m付近から微細粒砂
38	-35.12	1.75	38.45						38.80m付近まで微細～細粒砂混じる
39	-36.02	0.90	39.35		粘土	黒		非常に硬い	腐植物を多く含む 含水量中位で粘性大 39.10～39.35m間、褐灰色の微細粒砂で腐植物細片混じる
40									
41					砂	暗灰	密な～非常に密な		細～中粒砂で、非常に締まっている φ3～4mm程度の亜円礫点在
42	-38.87	2.85	42.20						
43									
44									
45					砂礫	暗灰	非常に密な		含水量多い 砂は細～粗粒砂 φ2～最大30mm程度の亜円・亜角礫が主体 礫は硬質な火山礫
46									
47									
48	-44.62	5.65	45.85		砂	暗灰	密な		砂は細～粗粒砂 φ3～10mm程度の亜角礫点在する
49